

TOPIC

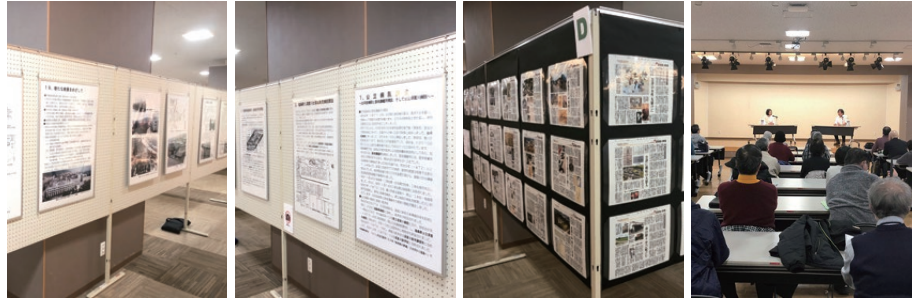
A・O・Z主催「『福島県立医科大学』を知ろう」企画開催中 本学教員による県民の皆様の健康増進に役立つ公開講座も同時開催

令和5年3月1日(水)から3月30日(木)まで、「福島県立医科大学のあゆみ～福島支病院から光が丘キャンパスまで～」と題し、本学の歴史を振り返る写真展示企画が、主催の福島市アクティブシニアセンター・アオウゼ(以下、A・O・Z)で開催中です。(観覧無料)

杉妻町から光が丘へ 本学の歴史を振り返る

一昨年4月に福島駅前開設された本学保健科学部は、東日本大震災からの復興への貢献とともに、福島市中心市街地の活性化に大きな期待が寄せられています。そこで、改めて本学の歴史、特に福島市のまちづくりで果たしてきた役割を振り返ることで市民の方々の理解を深めていただきたいとのA・O・Zの企画に本学も協力して開催となりました。

開催期間中は、本学附属病院とのゆかりがある福島県公立須賀川病院福島支病院の誕生から光が丘キャンパスに移転するまでの歴史を解説したパネルを中心にMAXふくしま4階アオウゼ・エントランスホール



に展示しています。

また、展示内容の理解を深める目的で、A・O・Z事業推進アドバイザー柴田俊彰氏によるギャラリートークを3月9日(木)に、関連講座を3月23日(木)に予定しております。

そして、本企画を記念して2月28日(火)に「健康長寿を実現するために～心と身体の健康について～」と題し、本学医学部病態制御薬理医学講座下村健寿主任教授、前島裕子特任教授が講演いたしました。

3月28日(火)には、保健科学部介護予防研究チームによる「高齢者のための体力測定会」を実施予定です。

福島駅前キャンパス 初の体験学習ツアー

さらに、本学で最も新しく開設した保健科学部の活動をさらに理解いただくため、福島駅前キャンパスの体験学習ツアーが3月10日(金)に予定されています。

当日は、保健科学部の各施設を見学するとともに理学療法学科星真行助教によるフレイル予防健康講座も開講予定です。

今後も、本学ではA・O・Zで、県民の皆様の健康増進に役立つ公開講座を行ってまいります。

詳細は
こちらから



Web
site

※記載の講座のうち、3月9日ギャラリートーク並びに3月23日「県立医大の歴史講座」は申込可能です。(3/1現在)



VISITING LECTURES

「いだい×みんぼう健康ふくしまプロジェクト」 福島民報社と本学理学療法学科による1日1動!リアル体験教室

本学保健科学部理学療法学科と福島民報社で協力して実施している「いだい×みんぼう健康ふくしまプロジェクト」として、民報出前講座

「1日1動!リアル体験教室」開催中です。

「1日1動!」でご紹介したストレッチの具体的な方法や健康豆知識などを、福島県内の会場で

直接お伝えし、県民の皆さんの健やかな暮らしを後押しする企画です。令和4年7月から開始し、3月末までに18回の開催を予定しています。



神先秀人教授 (学科長)



高橋仁美教授



柴喜崇教授



星真行助教



岡崎可奈子助教



次期保健科学部長候補者に、 矢吹省司 現保健科学部長を選出



令和5年2月16日(木)に任期満了に伴う本学保健科学部長選考の第2次選挙が行われ、次期保健科学部長候補者として矢吹省司現保健科学部長が選出されました。任期は令和5年4月1日から2年間となります。

矢吹省司現保健科学部長は、次のように今後の抱負を述べました。

今後2年間で、一期生は3年生、4年生となり、卒業していきます。より専門的な勉強と実習が始まります。さらに、卒業研究があります。彼らが、専門的な知識や技術を身につけること、研究の楽しさや苦しさを知って卒業後も研究を継続したいと思うマインド

を身に付けることに取り組んでいきたいです。卒業前には国家試験があります。国家試験に合格しないことには専門医療技術者として働くことができません。合格することが最低条件になりますので、100%の合格率を達成したいです。2023年4月には全教員が就任し60人体制が完成します。全教職員が協力して、4学年の学生が揃う(完成年度と言われます)保健科学部の更なる発展につなげて行きたいと思いを。

福島県立医科大学は、医学部、看護学部、そして保健科学部の3学部6学科を有する医療系総合大学です。教育や研究の面

で横の連携をとることが大事です。4年生の科目に「チーム医療Ⅱ」があります。この科目では、3学部の学生が福島駅前キャンパスに集まって多職種でのディスカッションを行います。卒業前からチーム医療の重要性を理解し、卒業後すぐに活躍してくれることを期待しています。

大学教員にとっては、研究も重要な仕事です。外部研究資金獲得や学部横断的な共同研究なども行って、大学全体としての研究力の向上に寄与していきたいと思いを。皆様のご支援・ご指導をよろしくお願いをします。



MONTHLY TOPICS

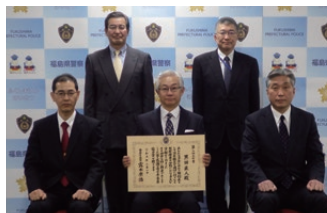
本学教員が 警察庁長官表彰を受章

本学医学部法医学講座主任黒田直人教授が、長年にわたり司法解剖などで犯罪捜査に多大な貢献をしたとして、令和5年2月16日(木)に警察庁長官表彰(警察協力章)を受章しました。

黒田教授は、これまで本県や東京都、青森県などで約40年にわたり司法解剖などに携わり、事件の解決に貢献してまいりました。

伝達式は福島県警本部で行われ、児嶋洋平本部長から表彰状が授与されました。

黒田直人教授は、「身に余る光栄、これまでの経験を後進に役立てたい」とコメントしました。



ホームカミングディ先輩と 在校生の交流の場に

令和5年2月22日(水) 16:30~17:30に「私はこうして1年目をつけています」をテーマにホームカミングディが開催されました。

在学4年生と新卒1年目の保健師・助産師・看護師との交流が行われ、「就職にさまざまな不安を抱えていたけれど、お話を聞いて覚悟ができたような気がする」などの感想が聞かれました。



坪倉先生の放射線教室@川内村

本学医学部放射線健康管理学講座主任坪倉正治教授は、令和4年12月12日、19日に川内村立川内小中学園で放射線に関する授業を実施しました。これまで福島第一原発事故以降、川内小学校(令和3年に川内中学校と統合して小中一貫の義務教育学校)にて放射線教育を継続して実施しており「放射線の先生」として親しまれています。

1~3年生の授業では、紙芝居や霧箱観察、クイズが行われ、生徒の皆さんは楽しみながら放射線に関する知識を学びました。4~6年生の授業では、グループで放射線量の測定を行い、7~9年生の授業では、将来県外に出た際に放射線の正しい知識を伝えることができるようにグループワークを実施しました。



第7回ふくしま県民公開大学開催

ふくしま県民公開大学は、本学・広島大学・長崎大学で構成され、放射線災害・医学研究の学術基盤の確立を目的に開催しています。今年度も、全4回のテレビ番組を放送しておりますので、皆さま、ぜひご覧ください。

- 第1回 <2月22日(水)> ※放送済
「放射線健康リスク認知&リスクコミュニケーション」
- 第2回 <3月1日(水)> ※放送済
「震災後の「こころの健康度」の推移」
- 第3回 <3月8日(水)>
「震災後県内に移住した方の幸せな暮らし方の研究」
- 第4回 <3月15日(水)>
「南相馬市での病院看護の災害対策への課題」

※各回ともKFBにて20:56~21:00放送。 ※各回のテーマは一部変更となる場合があります。